

よろこ 喜んで やろう

なにごと ふへい りくつ
何事も、不平や 理屈を
い おこな
言わずに 行いなさい。
しんきょうどうやくせいしよ
(新共同訳聖書、フィリピの
しと てがみ
信徒への 手紙 2:14)



きみ とう
君は、お父さんや
かあ じぶん
お母さんに、自分の
したくないことを
するようと
い いた
言いつけられたことは
あるかい？ 例えば、
おもちゃで ずっと
あそ 遊んでいたのに
かたづ 片付けなくちゃ
いけなかったり、 じぶん
自分の
したい ことよりも、おとうと
妹が したがつている
ことを しなくちゃ
いけなかったりね。



かみさま ことば なん よろこ
神様の み言葉は、何でも 喜んで

やるべきだと 教えている。つまり、

もんく い くちごた
文句を 言ったり 口答えを

しないで やるっていう

ことだよ。しなければ

ならない ことについて

もんく い
文句を 言えば しないで

すむって 思う ことも

あるかも しれない。だけど、

くちごた もんく
口答えしたり 文句を

い じかん けつきよく
言ったりする 時間は、結局

ぜんぶ
全部 むだに なるんだ。する

ひつよう
必要の ある ことは、やっぱり

しなくちゃ いけないからね。





いちばん 一番 いいのは、ただ 正しいと わかっている
ことは、さっさと やってしまう ことだよ。
そのほうが、てつだ 手伝ってほしいと たの ひと 頼んだ 人や
りょうしん 両親にとって ラクだし、じぶん 自分にとっても
そうなんだ。ふへい 不平を いったり くちごた 口答え
しなければ、ようじ 用事は すぐにかたづくし、
そうすれば、じぶん 自分の したい たの 楽しい ことだって、
すぐに できるからね。それに、ただ 正しいと
わかっている ことをすれば、かみさま 神様も よろこ 喜んで
くださるんだ。





やってみよう

とう かあ なに いえ
お父さんか お母さんに、何か 家の
てつだ
お手伝いで やってほしい ことがあるか、
たずねてみよう。そして、すぐに よろこ喜んで
てつだ れんしゅう
お手伝いをするという 練習をしよう。



文：カチューシャ・ジュスティ 絵：サビーン・リッチ デザイン：ステファン・ミーラー 出版：マイ・ワンダー・スタジオ
Copyright ©2013年、ファミリーインターナショナル “With a Cheerful Heart”--Japanese
<http://www.mywonderstudio.com/0-5/2013/11/18/bright-pebbles-with-a-cheerful-heart.html>

